学校番号	119

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	「精選国語総合」（東京書籍）						
副教材等	「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）／「常用漢字クリア五訂版」（尚文出版）／「新精選古典文法 」（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年では社会人になるにあたって必要となる基礎的な国語の能力を身に付けましょう。
・話し合い活動や文章記述、発表などを取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、正しく意思を伝え合い相互理解を深める。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・学習を通じ国語の背景にある伝統的な言語文化に関心を持ち、国語を尊重する姿勢を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	評論	「水の東西」 山崎正和	○			○	○	a:論理の進め方や構成など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:論理の進め方や構成や対比接続詞の使い方など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:無常やもののあはれについて水のありようを発端にして注意を向けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシートテスト及び定期考査
	詩歌	「冬が来た」 高村光太郎 「汚れつちまつた悲しみに…」 中原中也 「I was born」 吉野弘 「夏の姿」 木坂涼	○	○		○	○	ade:表現やリズムを味わい、省略されている情景を補って思い浮かべ、筆者の疑問について考えることができる。 b:題名には、作者のどのような思いが読み取れるか話し合えている。	abe:行動の観察及び記述の点検 d:ノート、ワークシート及び定期考査
	小説	「羅生門」 芥川龍之介	○	○		○	○	a:　文章表現を元に筆者の言いたいことを捉え、象徴、予兆、などの果たしている効果を理解できる。 b:主人公の行動について意見を互いに交流できる。 d:タイトルの漢字の意味を手がかりにして小説の主題を考える。 e:比喩など表現の特徴を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察と発表等 de:ノート、ワークシート及び定期考査

	随想	「届く言葉」 内田　樹	○	○		○	○	a:本文に書かれている著者の考えを的確に理解しようとしている。 b:これまでの体験をもとに、「言葉が届く」とはどのようなことか話し合えている。 d:文章の展開を的確に捉えている。 e:言葉を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 bd:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	古文入門	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 歴史的仮名遣い 古語辞典の引き方 活用形 係り結び 動詞	○			○	○	a:日本語らしさとはどういうことかを考えようとする。 d:文章に書かれている人物の行動を元に心情をつかみ、現代とは異なる世界での出来事を読み深めようとしている。 e：古文に読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	歌物語	『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」	○			○	○	a:文章を現代語に直す中で人物の言動や状況を捉えていこうとする。 d:和歌によって文意が凝縮し、情感も最高潮になるという表現効果に気づくことができる。 e:文語のきまりを身に付けている。和歌独特の技法に慣れる。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	訓読の基本・故事成語	訓読 格言 再読文字 故事成語「推敲」	○			○	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:本文に書かれている内容を的確に読み取ろうとしている。 e:漢文を読むのに必要な訓読の仕組みを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 de:ノート、ワークシート及び定期考査

二学期	小説	「城の崎にて」 志賀直哉 「富嶽百景」 太宰治	○		○	○	○	ad: 文章表現を元に筆者の描く世界を捉え、登場人物の行動の仕方ににじみでる心情や、ちりばめられた素材の効果を理解できる。 c：読んだ後に、感想をまとめることができる。 e：作者独特の表現を文中からみつけている。	ac:行動の観察及び記述の点検 de:ノート、ワークシート及び定期考査
	評論	「時間と自由の関係について」 山内節	○			○	○	a:論理の進め方や構成など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:論理の進め方や構成など、文章の筋道を的確にとらえ筆者の主張を受け止めている。 e:言葉を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	詩歌	正岡子規 与謝野晶子 石川啄木 若山牧水 北原白秋 斉藤茂吉 寺山修司 俵万智	○		○	○	○	ade:簡潔な表現の中、省略されている情景を補って考えることができる。 c：短歌を創作することができる。	a:行動の観察及び記述の点検 cde:ノート、ワークシート及び定期考査
	随筆と日記	『土佐日記』 「馬のはなむけ」 「帰京」 形容詞 形容動詞 助動詞	○			○	○	a:文章に描かれている人物の行動と心情を読みとり、それに対する筆者の批評意識をつかんでいる。 d:古典語のニュアンスを筆者の挙げる例から受け止め共感できるか考えられる。 e：文語のきまりを身に付けている。和歌独特の技法を身につける。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート

	随筆	『枕草子』 「五月ばかりなどに山里に歩く」 「にくきもの」	○			○	○	a:日本語らしさとはどういうことかを考えようとする。 d:文章に書かれている人物の行動を元に心情をつかみ、現代とは異なる世界での出来事を読み深めようとしている。 e：古文に読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシー
	和歌	『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』 和歌の修辞法	○			○	○	a：文章を現代語に直す中で人物の言動や状況を捉えていこうとする。 d:和歌によって文意が凝縮し、情感も最高潮になるという表現効果に気づくことができる。 e：文語のきまりを身に付けている。和歌独特の技法に慣れる。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	寓話	「塞翁が馬」	○			○	○	a:寓話からできた言葉が現代でも使われていることに気づく。 d:本文に書かれている内容を的確に読み取ろうとしている。 e：漢文を読むのに必要な訓読の仕組みを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 de:ノート、ワークシート及び定期考査
	唐詩	「春暁」孟浩然 「送元二使安西」王維 「香炉峰～」白居易	○			○	○	ad:唐詩に描かれている情景を読み取ろうとしている。 e：漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。起承転結の構成の仕方を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート

三学期	小説	「鏡」 村上春樹	○		○	○	○	a d: 文章表現を元に筆者の描く世界を捉え、登場人物の行動の仕方ににじみでる心情や、ちりばめられた素材の効果を理解できる。 c：読んだ後に、感想をまとめることができる。 e：作者独特の表現を文中からみつけている。	a c：行動の観察及び記述の点検 de:ノート、ワークシート及び定期考査
	評論	「生物の多様性とは何か」 福岡伸一 「白」 原研哉	○	○		○	○	a:論理の進め方や構成など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b:真の自立について自分の考えをまとめ話し合える。 d:論理の進め方や構成など、文章の筋道を的確にとらえ筆者の主張を受け止めている。 e:言葉を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	ab:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	軍記物語	『平家物語』 「木曽の最期」 助動詞 助詞	○			○	○	a：文章を現代語に直す中で人物の言動や状況を捉えていこうとする。 d：文章に書かれている人物の行動を元に心情をつかみ、現代とは異なる世界での出来事を読み深めようとしている e：古文に読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	思想	「論語」 「学問を語る」 「人生を語る」 「政治を語る」	○			○	○	a:昔の人の考えや現代に通ずるものにに気づく。 d:本文に書かれている内容を的確に読み取ろうとしている。 e：漢文を読むのに必要な訓読の仕組みを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 de:ノート、ワークシート及び定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。